

ほかほかだより



2024. 6. 28
豊能町立ひかり幼稚園



七夕の話をして笹飾りを作りました。

七夕は、『笹の節句』と呼ばれ、桃の節句や端午の節句など1年の節目を表す行事、『五節句』の中の一つです。

現在はさまざまな願い事を書く短冊ですが、昔は手習いの上達を願う風習だった為「字がきれいになりますように」などの願いを短冊に書き、空に願いを込め笹に飾りをつるしていました。それが現代まで受け継がれて『七夕』という行事になっています。(仙台や北海道など、8月7日に七夕を行う地域もあります。) 幼稚園では、皆さんがよく知っている、年に1度だけ会える織姫と彦星の話を集いで聞き、短冊や笹飾りの意味など、学年に応じたお話をクラスでした後笹飾りを笹に結びました。

年少さんは年長さんに手伝ってもらって笹に短冊をつけました

この話は、全クラス共通で見ました。



玄関に大きな笹飾りが立てられました！
みんなの願い事が空に届きますように★



各学年のねらい

年長・・・七夕の由来を知り、天体に興味、関心をもつ

七夕を通じて、自分の願い事を考え、将来の自分に夢を膨らませる

年中・・・七夕の由来を知り、空や星に興味をもつ

年少・・・七夕の歌や制作をきっかけに「七夕」を知り、日本の伝統行事に親しむ

七夕の日はお子さんと一緒に空を眺めて、いろいろお話できるといいですね。